



はじめに

本市の水需要は、少子高齢化の進展、節水意識の高まりや、大口需要者の地下水への転換等を背景に減少傾向が続いています。また、水の安全性やおいしさに対する関心の高まり、危機管理や集中豪雨への対応など、上下水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、経営課題も多様化・高度化しています。

これらの課題に対応するため、平成28年4月に策定した「北九州市上下水道事業中期経営計画」(平成28～32年度)に沿って、経営目標である「安全・安心で質の高いサービスを提供し、現行料金を維持する」に向けて着実に事業を進めています。

水道事業では、重点的に取り組む課題として、老朽管更新事業や地震対策事業を掲げています。これにより、水道施設の老朽化や自然災害による漏水事故を防ぎ、いつでも安心して水を供給できる体制を確保していきます。また、水道広域セミナーを通して広域連携の可能性について検討を進めるなど、新たな広域連携の推進に取り組んでいます。

下水道事業では、平成30年に、節目の100年を迎え、市民参加型のイベントを中心として、「北九州市下水道100周年記念事業」を実施しました。記念事業には、約6万人の方にご参加いただき、下水道の役割や重要性について、理解を深めていただく機会になったと考えています。引き続き、安全で安心な災害に強いまちづくりとしての豪雨対策や震災対策、環境未来都市の推進に寄与する下水道施設の低炭素化、豊かで快適な市民生活の維持・拡充に向けた施設の改築更新、合流式下水道の改善や近隣市町との広域化の検討などに取り組んでいきます。

海外事業では、ベトナム国において当局が開発したU-BCF(上向流式生物接触ろ過設備)の普及実証事業、カンボジア国において水道拡張整備事業などに取り組んでいます。また、国内においても、日明浄化センター管理棟(ビクターセンター)やウォータープラザなどの国際戦略拠点を活用しながら、技術研修や視察などを受入れ、効果的な国際技術協力事業や海外水ビジネスを推進しています。

2015年に国連において、世界共通の17のゴールを定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」が採択されました。本市は、4月に、OECD(経済協力開発機構)から「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定され、6月には、国から「SDGs未来都市」に選定され、現在、「SDGs」の達成に向け全市を挙げて取組を進めています。

この「SDGs」のゴールの1つに「安全な水とトイレを世界中に」という目標が掲げられています。かつて私たちが乗り越えてきた課題を抱える国や地域に対しては、私たちがこれまでに培った技術や経験を生かした支援が可能であるとともに、私たちにとっても、白らの強みの強化、技術の継承につながると考えます。

今後も、これまで蓄積した技術やノウハウを生かし、積極的に各種事業に取り組み、お客さまに信頼される上下水道を目指してまいります。

ここに平成30年度版北九州市上下水道局事業概要を作成し、現状とこれまでの推移をまとめました。本市の上下水道事業をお知りいただくうえでの資料としてご活用いただければ幸いです。

北九州市上下水道局長 有田 仁志

はじめに	1	5 有収率向上対策	18
I これまでのあゆみ	2	6 中小水力及び太陽光発電所の建設	18
1 上水道事業・工業用水道事業	2	7 財政状況	18
2 下水道事業	4	1 財政の概況	18
II 上水道事業	6	2 平成29年度決算(税込)	19
水道事業	6	水道用水供給事業	20
1 水道事業の現状と課題	6	1 用水供給事業の現況	20
1 水需要の動向	6	1 沿革・概要	20
2 課題と今後の対応	6	2 給水状況	20
3 重点施策及び実施事業	7	3 施設系統図	21
4 推進体制	7	4 料金について	21
2 水道事業の現況	8	5 主要施設	22
1 給水量	8	6 財政状況	23
2 普及状況	8	III 工業用水道事業	24
3 口径別給水状況	9	1 工業用水道事業の現況	24
4 水系別施設能力	10	1 給水状況	24
5 主要施設	12	2 主要施設	26
3 水質管理	15	3 財政状況	27
1 水源における水質管理	16	IV 下水道事業	28
2 浄水場における水質管理	16	1 下水道事業の現状と課題	28
3 給水栓における水質管理	16	1 下水道の役割	28
4 より安全で良質な水への取り組み	16	2 下水道事業の現況	29
4 震災対策	16	3 課題と今後の対応	32
1 水道施設の耐震化	16	2 下水道の計画	33
2 応急給水に係る諸対策	17	1 社会資本整備重点計画	33
3 北部福岡緊急連絡管事業	17	2 下水道整備事業	33
		3 下水道資源などの有効活用	35
		1 処理水の活用	35
		2 汚泥の活用	36
		3 未利用エネルギーの有効利用	37
		4 下水道施設の有効活用	37
		4 財政状況	38
		1 財政のしくみ	38
		2 平成29年度決算(税込)	39
		V 海外事業	40
		1 国際技術協力	40
		2 海外水ビジネス	42
		VI お客さまサービス	45
		1 お客さまの窓口	45
		1 上下水道お客さまセンターの主な業務	45
		2 水道料金センターの主な業務	45
		2 下水道事業受益者負担金制度	46
		3 下水道使用料制度	46
		4 水洗化の普及対策	46
		5 工事事務所の主な業務	47
		1 上水道業務	47
		2 下水道業務	47
		6 広報活動	48
		VII 上下水道局の組織	51
		1 組織機構図	51
		2 職員数	52
		3 事務分掌(平成30年9月1日現在)	52
		4 事業所一覧	54
		参考資料	55-90

Contents

〈表紙の写真〉

〈上〉

小学生へ下水道の仕組みをレクチャー
(下水道展'18北九州より)

〈右〉

給水車出発
(平成30年7月豪雨被災都市の給水応援出発時より)

〈左〉

下水道国際シンポジウムの様子
(下水道国際シンポジウムin北九州より)